

Information

日本看護倫理学会 第15回年次大会 (現地+Web開催)

日程▶5月28日(土)～29日(日)

会場▶プラサヴェルデ(静岡県沼津市)

テーマ▶困難に立ち向かう看護の道徳と倫理

プログラム▶大会長講演「道徳的感受性とモラルレジリエンス」太田勝正(東都大学)／基調講演「非常事態に立ち向かう医療専門職の役割」越智小枝(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター)／シンポジウム「COVID-19 パンデミック：その時私たちはどう行動したか？」村松妙子(浜松医科大学)、豊島美樹(大阪市立総合医療センター)、小嶋由美(静岡県西部保健所)／教育講演①「生命倫理の過去から未来—患者中心の医療の実現に向けて」大林雅之(東洋英和女学院大学)／②「功利主義の可能性と限界」児玉聡(京都大学)／③「プラグマティズムと看護」真弓尚也(東海大学医学部付属八王子病院)／④「現場で看護研究を推進するための研究倫理審査攻略Tips」前田樹海(東京有明医療大学)／⑤「モラルレジリエンスについて」中村充浩(東京有明医療大学)／市民公開講座『「健康」の語を創始した白隠禅師の教え—看病の要諦』共催：東都大学、芳澤勝弘(花園大学、駿河白隠塾)／看護学生セッション
参加費▶会員1万円(抄録集含む)、非会員1万1000円(抄録集含む)、学生(大学院生除く)2000円(抄録集含まない)、抄録集2000円

参加登録期間▶5月29日(日)まで

参加登録方法▶下記Webサイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11
TFTビル東館9階 プロコムインターナショナル内

☎ 03-5520-8821

☎ 03-5520-8820

✉ jnea15th@procom-i.jp

<https://procomu.jp/jnea2022/index.html>

日本クリティカルケア看護学会 第18回学術集会 (現地+Web開催)

日程▶[現地] 6月11日(土)～12日(日)、
[オンデマンド配信] 7月1日(金)～31日(日)

会場▶北九州国際会議場、アジア太平洋インポートマート AIM (ともに福岡県北九州市)

テーマ▶看護を紡ぎ、次代を拓く。

プログラム▶集会長講演「看護を紡ぎ、次代を拓く」立野淳子(小倉記念病院)／特別講演「特定行為研修修了者は病院の人財になりえるか」宮脇宏(小倉記念病院)／「ICU専従医が思う魅力あるICUとは—人では何もできなかった」松田憲昌(小倉記念病院)／「ICUナースに知っていてほしい緩和ケア」宮下光令(東北大学)、石上雄一郎(飯塚病院)／「クリティカルケアは病院収益にどのような利益をもたらすか」木澤晃代(日本看護協会)／「COVID-19の感染対策(特にクリティカルケア領域において)」忽那賢志(大阪大学)／「クリティカルケア領域の未来予想図—AIと遠隔ICUと看護の可能性」高木俊介(横浜市立大学附属病院)／招聘講演「患者と家族の心をケアする共感的コミュニケーションの基礎」古宮昇(カウンセリング・ルーム輝)／「米国のECMO療法最前線—ECMOスペシャリストからのメッセージ」ピーターソン由紀(Michigan Medicine University of Michigan)／教育講演「クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める」卯野木健(札幌市立大学)／「看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント—窒素バランスを看護に活かす」中村謙介(日立総合病院)／「クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション」宇都宮明美(京都大学)／「クリティカルケアにおける安全文化の作り方」濱本実也(公立陶生病院)／「知っておきたい人材育成の基礎知識」矢野博史(日本赤十字広島看護大学)／「ガイドラインをクリティカルケア看護の実践に活かす」河合佑亮(藤田医科大学病院)／「終末期ディスカッション—担当医が患者中心の判断をし

ていないと感じた時どうする？」則末泰博(東京ベイ・浦安市川医療センター)／シンポジウム「ルーティンケアの変遷」／「特定行為関連看護師のタスクシフティング・タスクシェアリング—働き方はどう変わったのか」／「重症患者の症状緩和と看護」／「一歩進んだPICSケア—患者が入院前の生活に戻るために私たちができること」／「クリティカルケア領域における終末期ケアの質」／「クリティカルケアの実践に倫理の基盤を築く」／「クリティカルケア領域の人材育成」／「クリティカルケアのボタンを繋ぐ」／「最善の選択を目指す意思決定支援」／「クリティカルケア看護の最前線で活躍している研究者は、どんな事を考えて研究しているのか」／「スペシャリストとジェネラリストの協働」／「集中治療室の安楽の確保に向けた環境を考える」／「集中治療領域における医療安全」／「気管挿管患者を人となぐコミュニケーションの技」／パネルディスカッション「ICUと病棟連携について考える—看護のボタンをつなぐ」／「COVID-19時代の看護教育」／「重症患者の栄養管理—摂食機能回復への取り組み」／「本当に実践できてる？ ABCDEFGHバンドル」／「災害発生時のクリティカルケア看護管理」／「小児のクリティカルケア看護の教育を考える」／「クリティカルケア看護のQIを考える」／「チームで行う早期リハビリテーション—それぞれの役割と課題」／「クリティカルケアにおける超高齢患者と家族に対する看護実践」／「意外と知らない？ 日常で行われる看護実践のピットフォール」／「COVID-19患者におけるクリティカルケア看護の困難さへの挑戦！」／ほか

参加費(通常)▶会員1万2000円、非会員1万4000円、学生(大学院生を除く看護学生)3000円

参加登録期間(オンライン)▶7月29日(金)正午まで

参加登録方法▶下記Webサイトの参加登録フォームより

*現地で当日受付(現金払い)もあるが、COVID-19の感染予防対策としてオンライン登録を推奨

問い合わせ先▶

[学術集会事務局]

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1
山口大学大学院医学系研究科内
✉ jaccn18@orbit-cs.net
[サポートデスク]
〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引
野 1-5-31-101 オービット内
✉ cv_jaccn18@orbit-cs.net
[https://confit.atlas.jp/guide/event/
jaccn18/top](https://confit.atlas.jp/guide/event/jaccn18/top)

第 24 回日本母性看護学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 6月26日(日), [オンデマンド配信] 7月1日(金)~31日(日)
テーマ▶パンデミックからのメッセージ—母性看護へのヒント
プログラム▶会長講演「パンデミックからのメッセージと母性看護」佐々木綾子(大阪医科薬科大学)／教育講演①「今からでも間に合う 100 歳まで歩ける体力づくり—コロナ禍の人々への影響とサポート」谷本道哉(近畿大学)／②「発達科学の視点から、今こそ人の育ちにとって大切なこと」明和政子(京都大学)／特別講演①「妊産婦の保健指導に役立つ—行動経済学からみたコロナ禍の人々への影響と行動変容支援」大竹文雄(大阪大学)／②「動物の子育てから見た児童虐待—社会的リスクを抱えた妊婦を見守るヒント」荻田和秀(りんくう総合医療センター)／シンポジウム「パンデミックの母子・家族への影響と新たな支援」緒方敏子(大阪府助産師会), 塩崎亜矢(高槻市), 千葉貴子(愛染橋病院)／教育セミナー①「ゼンメルワイスの産褥熱から新型コロナウイルス感染症まで—これだけは知っておきたい母子の命を左右する母体感染症」藤田太輔(大阪医科薬科大学)／②「明日からの母子ケアに役立つ, よくわかる周産期の薬理学」矢野良一(大阪医科薬科大学)／③「親性準備性教育からの父親(パートナー)支援が家族・働き方・少子化社会を変える」小崎恭弘(大阪教育大学)／④「看護職が知っておきたい—コロナ禍による妊娠・産後うつへの影響と支援」新井陽子(北里大学)／研究報告(口演,

示説)／実践報告(口演, 示説)
*当日ライブ配信, オンデマンド配信教育セミナーは, CLoCMiP® レベルⅢ認証申請に利用可能。教育セミナー①は 2022 年度以降の新規申請の必須研修。その他の当日ライブ配信, オンデマンド教育セミナーは選択研修。視聴後, 修了証が発行される

参加費▶[第 1 期] 会員 7000 円, 非会員 9000 円, [第 2 期] 会員 9000 円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 2000 円

参加登録期間▶[第 1 期] 5 月 6 日(金)まで, [第 2 期] 5 月 13 日(金)~6 月 3 日(金)

参加登録方法▶下記 Web サイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎
3-20-1 インターグループビル インターグループ内

☎ 06-6372-9345

FAX 06-6376-2362

✉ jsnm24@intergroup.co.jp

<http://jsnm24.umin.jp/index.html>

第 26 回日本医療情報学会 春季学術大会 シンポジウム 2022 in せとうち (現地+Web 開催)

日程▶6 月 30 日(木)~7 月 2 日(土)

会場▶岡山コンベンションセンター(岡山市)

テーマ▶ビッグデータ再考—現在・過去・未来

参加費▶[早期] 会員 8000 円, 非会員 9500 円, 学生 3000 円, [直前・当日] 会員 9000 円, 非会員 1 万 1000 円, 学生 3000 円

参加登録期間▶[早期] 5 月 20 日(金)まで, [直前・当日] クレジットカード支払 6 月 1 日(水)~7 月 2 日(土), 銀行振込 6 月 1 日(水)~20 日(月)

参加登録方法▶下記 Web サイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3
メッド内

☎ 086-463-5344

FAX 086-463-5345

✉ jami2022@med-gakkai.org

<https://med-gakkai.jp/jami2022/>

第 27 回日本緩和医療学会 学術大会 (現地開催)

日程▶7 月 1 日(金)~2 日(土)

会場▶神戸国際会議場, 神戸国際展示場, 神戸ポートピアホテル(いずれも神戸市)

テーマ▶現状を評価し, 前に進む

参加費(2 次)▶会員 1 万 4000 円, 非会員 1 万 6000 円, 学生 3000 円

問い合わせ先▶運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀
1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6441-5860

FAX 06-6441-2055

✉ 27congress@jspm.ne.jp

[https://plaza.umin.ac.jp/jspm2022/
index.html](https://plaza.umin.ac.jp/jspm2022/index.html)

第 28 回日本看護診断学会 学術大会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 7 月 16 日(土), [オンデマンド配信] 7 月 16 日(土)~31 日(日)

テーマ▶パーソンセンタードケアに活かす看護実践と用語

プログラム▶大会長講演「パーソンセンタードケアに活かす看護実践と用語」伊東美佐江(山口大学)／特別講演「専門家間の共有意思決定過程(IP-SDM)における医療情報の活用と看護職の役割」宇都由美子(鹿児島大学病院)／理事長特別企画シンポジウム「電子カルテの看護記録を再考する」長谷川智子(福井大学), 岡田みずほ(長崎大学病院), 村岡修子(NTT 東日本関東病院)／特別企画シンポジウム「看護実践における臨床推論」中嶋智子(佐久大学), 吉田和美(県立広島大学), 鈴木康江(鳥取大学), 山田裕紀(広島大学病院), 山勢博彰(山口大学)／Sigma Asia

Region シンポジウム 田中愛子（山口大学）、Claudia Lai（The Hong Kong Polytechnic University）、Janet Wong（The University of Hong Kong）、and Sigma Asia Region Nurse Leaders／教育講演①「看護のための哲学思考」小川仁志（山口大学）／教育講演②「Making nursing visible in Electronic Health Records - Contributions of ACENDIO, the Association for Common European Nursing Diagnoses, Interventions and Outcomes」Maria Müller Staub（ACENDIO）／教育講演③「NANDA International 看護診断：開発の現状と今後の展望」上鶴重美（看護ラボラトリー）／教育研究実践セミナー「テキストマイニングの魅力“質的データの可視化”」上野栄一（奈良学園大学）／「看護の思考を育む工夫」村田節子（第一薬科大学）／「看護の現象を測定する一尺度の活用法」吉岡さおり（京都府立医科大学）／「質的研究方法としての内容分析」松本啓子（香川大学）／「ケアの受け手と医療者の視点から現象を理解すること—両者の折り合いの中から生まれる看護実践」山田紋子（静岡県立大学）／「実践マタニティ診断」齋藤益子（関西国際大学）／「根拠ある看護実践—看護ケアの効果の検証」上原佳子（福井大学）ほか／交流集会／一般演題／ほか

参加費▶[早期登録] 会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、学生 1000 円、[一般登録] 会員 1 万 1000 円、非会員 1 万 3000 円、学生 1000 円

参加登録期間▶[早期登録] 6 月 30 日(木)まで、[一般登録] 7 月 1 日(金)～29 日(金)

参加登録方法▶下記 Web サイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶大会事務局

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1 山口大学伊東研究室内

✉ jsnd2022@yamaguchi-u.ac.jp
https://confit.atlas.jp/guide/event/jsnd2022/top

日本看護学教育学会 第 32 回学術集会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 8 月 6 日(土)～7 日(日)、[オンデマンド配信] 9 月 11 日(日)まで (予定)

テーマ▶今こそ原点回帰、未来へ紡ぐ看護学教育の知の創造

プログラム▶会長講演「今こそ原点回帰、未来へ紡ぐ看護学教育の知の創造」前川幸子（甲南女子大学）／特別講演①『「ふれる」から『知る』の教育哲学—「触れる」の教育的意義を問うことを通して」生田久美子（田園調布学園大学）／②「看護学教育とケアリング」筒井真優美（日本赤十字看護大学）／教育講演①「看護学教育学会の歩みとこれからの看護学教育」大島弓子（日本看護学教育学会理事長）／②「看護学における省察的实践者を育む」柳澤昌一（福井大学）／看護学教育研究の可能性を拓く 講演①「看護学教育と事例研究」黒江ゆり子（甲南女子大学）／②「看護学教育とアクションリサーチ」井上典之（早稲田大学）／③「看護学教育と量的研究」加藤憲司（神戸市看護大学）／新たな看護学教育方法の可能性 ワークショップ①「看護的思考を促すLTD 話し合い学習法」佐藤政枝（横浜市立大学）／②「実践的に看護を教える『臨床判断』(理論と学内での教育における取り組み編)」奥裕美（聖路加国際大学）、三浦友理子（聖路加国際大学）／③「実践的に看護を教える『臨床判断』(臨地での教育における取り組み編)」三浦友理子（聖路加国際大学）、池田葉子（聖路加国際病院）、古屋真理子（聖路加国際大学）、山形泰士（聖路加国際大学）／④「学生が学びたいになる『シミュレーション教育』」内藤知佐子（愛媛大学医学部附属病院）／COVID-19 禍における教育の事象を読み解き見出すこれからの看護学教育 シンポジウム①「COVID-19 禍における教育現場を現象学的なまなざしでみる」西村コミ（東京都立大学）、大塚類（東京大学）／②「COVID-19 禍の経験からこれからの看護学教育を考える」山田かおる（東葛看護専門学校）、丸山浩枝（神戸市立医療センター中央市民病院）、大前薫（神戸掖済会病院）、佐々木幾

美（日本赤十字看護大学）／看護基礎教育における感染症看護の現状と今後の展望 シンポジウム「COVID-19 禍における感染看護学教育」鍋谷佳子（大阪大学医学部附属病院）、三橋睦子（久留米大学）、藤田愛（北須磨訪問看護リハビリセンター）／どう育む？これからの時代を生きる看護学の教育者たち 講演①「看護継続教育と基礎教育を繋ぐ」ウィリアムソン彰子（神戸大学医学部附属病院）／②「How we did the transformation to online during covid for the interprofessional simulation」Lorrie Wong（University of Hawaii）／③「教師教育の視座から看護教育者を考える：看護師養成教育を中心に」浅田匡（早稲田大学）／シンポジウム「これからの時代を生きる看護の教育者」安酸史子（関西医科大学）、丸山美津子（兵庫医科大学病院）、奥野信行（京都橘大学）／教育セミナー①「どう教える？ 防災・減災教育」横内光子（神戸女子大学）／②「どう取り組む？ カリキュラムマネジメント」吉田文子（佐久大学）／文部科学省・厚生労働省講演／理事会企画／市民公開講座／ほか

参加費▶ 会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、学生無料

参加登録期間▶[1 次] 6 月 30 日(木)17:00 まで、[2 次] 7 月 1 日(金)～9 月 11 日(日)17:00

参加登録方法▶下記 Web サイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jane32@a-youme.jp

http://jane32.umin.jp/index.html

*掲載している情報は 4 月 1 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。